

2018年3月 例会報告

日時 2018年3月10日（土）午後2時～5時

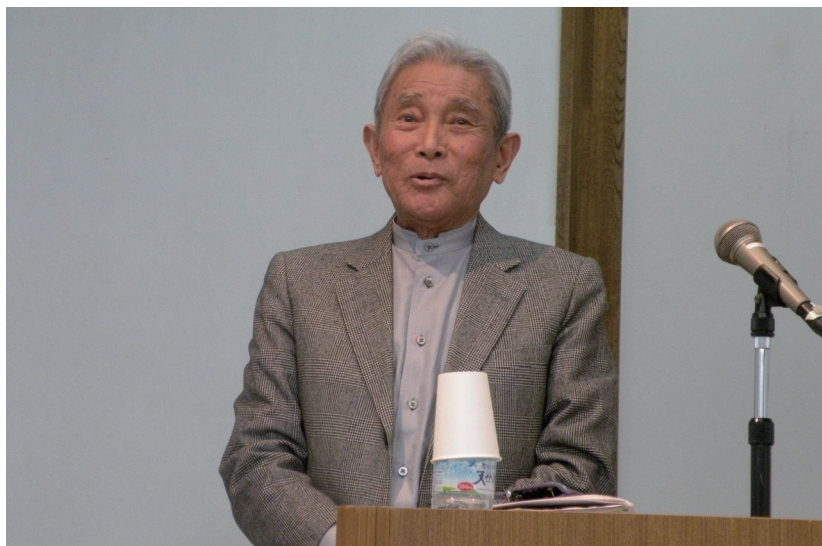
場所 早稲田奉仕園 リバティホール

2018年2月10日（土）午後2時から早稲田奉仕園リバティホールにおいて、日本詩人クラブ3月の例会が開催されました。司会は草薙定、宮本苑生の両氏。

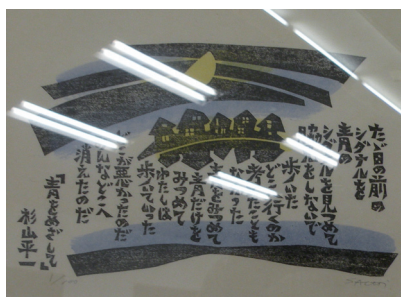
川中子会長の挨拶に続き、会員による詩朗読とスピーチが行われました。朗読者は琴天音氏（府中市）、森三紗氏（盛岡市）、石川厚志氏（埼玉県比企郡）、山本光一氏（茨城県稲敷郡）、ひろせ俊子氏（甲州市）。

講演は桜井節氏による「老境を生命感に昇華させた詩人・杉山平一の才気」。杉山平一の詩の概念「映画はモンタージュであり、詩もまたモンタージュである。自分の詩の判りやすさの間違いを悟りながら、詩はけむりのようにつかみ得ないエスプリ」を踏まえながら、杉山平一の詩の世界についてお話いただきました。

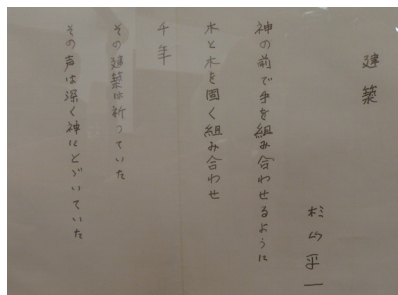
例会終了後は近隣のサイゼリヤで懇親会が行われました。



桜井節氏の講演



杉山平一の直筆詩など



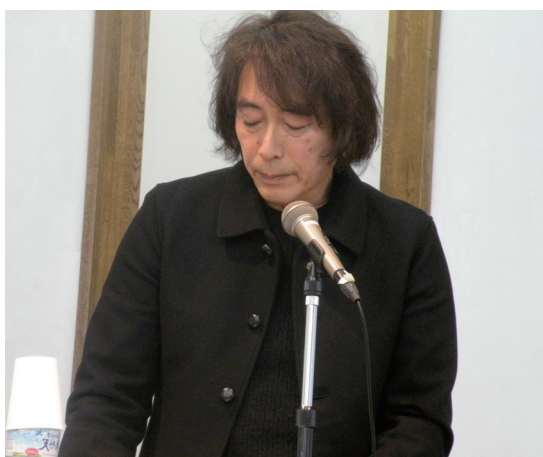
会員による詩朗読とスピーチ



琴天音氏



森三紗氏



石川厚志氏



山本光一氏



ひろせ俊子氏

第11期「詩の学校」⑥ 報告

日時 2018年2月24日（土）午後2時～4時30分

場所 東京セミナー学院

2018年3月24日（土）午後2時から東京セミナー学院において、第11期「詩の学校」の詩評・受講者の作品評ならびに閉校式が行われました。講師は中井ひさ子氏。司会は峰澤典子氏。

作品提出者（敬称略）：大和友子「六月の風」 土倉公子「ネズミモチ」 安藤初美「思い出に残ること」 渡邊邦「物書きさん」 鈴木昌子「夏の遠景」 原島里枝「歓喜する深雪熱」 三宮昭一「雪灯り」 渡辺一郎「焚火」 志村奏「天からの贈り物」 牧野新「恋焦がれて」 曲山浩「ダリアの花」 大久保しおり「ゼロ」 駒井喜久子「迷い道」



講師の中井ひさ子氏



講義風景